

第 53 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	林亮輔ゼミ	チーム名	辻井北口
タイトル	若者が政治に関心を持つには。		
テーマ群	c) 公共経済		
メンバー	徳本明士・浅野友祐・開発大介・齊藤蓮也		
研究計画内容	<p>【研究背景】「最近の若者は政治に関心がない」近年、よく聞く言葉だ。実際、アンケートを見ると、満 18 歳から 29 歳の若者で 50.0%が「政治に関心がない」「どちらかといえば関心がない」「わからない」と回答していた¹。このアンケートより若者の多くは政治に関心が無いということが分かった。しかし、内閣府が日本の若者に対して行なった政治関心に関するアンケート²などを見ても「なぜ関心が無いのか」についてのアンケートは存在していなかった。</p> <p>【研究目的・研究テーマ】そこで私たちは、若者に「関心がない理由」についてのアンケートを取り、アンケート結果をもとに若者が政治に関心を持つための政策提言を行おうと考えた。</p> <p>(定義) 関心を持つ=日本政治の現状を把握し、意見を述べることができる。</p> <p>【研究内容】</p> <p>Step1 : 先行研究をもとに、若者の政治関心について情報収集する</p> <p>Step2 : 先行研究の情報を踏まえ「なぜ若者が政治に関心がないのか」をテーマにロジックツリーを作成し、原因を細分化する。</p> <p>Step3 : Step2 を踏まえ、若者を対象に政治に関心を持たない原因などを問うアンケートを作成し、実施する (甲南学生+学外の 18~29 歳の若者)。</p> <p>Step4 : Step3 のアンケートの調査を踏まえ、主要な原因を明らかにする。</p> <p>Step5 : 主要な原因を解決するための政策提言を行う。</p> <p>【独自性・独創性】若者が政治に関心が無い原因を明らかにすることができる。現在の若者を対象にアンケート調査をすることで、リアルな意見を反映することができる。</p> <p>【社会的意義】上記のアンケート調査から政策提言を行うことで若者が政治に関心を持ち、政治に積極的に参加するようになるという効果が期待される。</p> <p>【参考文献】</p> <p>¹第 4 回若い有権者の政治・選挙に関する意識調査 (明るい選挙推進委員会：令和 4 年 2 月作成)https://x.gd/l82vh(2023 年 10 月 14 日閲覧)</p> <p>²日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～ (内閣府：令和元年作成) https://x.gd/KOvy7 (2023 年 10 月 14 日閲覧)</p>		